

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(3)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物で自然発火性のものは、窒素ガスの中でも発火する。 【 】
- (2) 第3類の危険物は保護液から危険物が露出していても密栓していればよい。 【 】
- (3) リン化カルシウムは希塩酸中に貯蔵する。 【 】
- (4) アルキルアルミニウムの火災の消火には、強化液消火剤が適切である。 【 】
- (5) カリウムはハロゲンと激しく反応する。 【 】
- (6) カリウムの融点は64℃である。 【 】
- (7) ナトリウムは空気中で酸化され、光沢を失う。 【 】
- (8) ナトリウムは水とほとんど反応しない。 【 】
- (9) アルキルリチウムはヘプタンと接触すると発火する。 【 】
- (10) 黄リンは二硫化炭素に溶ける。 【 】
- (11) リチウムは深紅色の炎を出して燃える。 【 】
- (12) カルシウムの比重は水より小さい。 【 】
- (13) ジエチル亜鉛は灰青色の結晶である。 【 】
- (14) 水素化ナトリウムは高温で水素とナトリウムに分解する。 【 】
- (15) 炭化カルシウムは炭素とカルシウムからなる化合物である。 【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物で自然発火性のものは、窒素ガスの中でも発火する。 【×】  
窒素ガス中では発火しない。
- (2) 第3類の危険物は保護液から危険物が露出していても密栓していればよい。 【×】  
保護液から露出させない。
- (3) リン化カルシウムは希塩酸中に貯蔵する。 【×】  
リン化カルシウムは酸と反応する。
- (4) アルキルアルミニウムの火災の消火には、強化液消火剤が適切である。 【×】  
禁水性。水系は不適切。
- (5) カリウムはハロゲンと激しく反応する。 【○】  
ハロゲン元素と激しく反応する。
- (6) カリウムの融点は64℃である。 【○】  
融点は64℃である。
- (7) ナトリウムは空気中で酸化され、光沢を失う。 【○】  
空気中で酸化され、金属光沢を失う。
- (8) ナトリウムは水とほとんど反応しない。 【×】  
水と激しく反応する。
- (9) アルキルリチウムはヘプタンと接触すると発火する。 【×】  
ヘプタンとは発熱反応が起きない。
- (10) 黄リンは二硫化炭素に溶ける。 【○】  
二硫化炭素に溶ける。
- (11) リチウムは深紅色の炎を出して燃える。 【○】  
炎色反応。
- (12) カルシウムの比重は水より小さい。 【×】  
比重は1.55で、水より大きい。
- (13) ジエチル亜鉛は灰青色の結晶である。 【×】  
無色透明の液体である。
- (14) 水素化ナトリウムは高温で水素とナトリウムに分解する。 【○】  
高温で水素とナトリウムに分解する。
- (15) 炭化カルシウムは炭素とカルシウムからなる化合物である。 【○】  
炭素とカルシウムからなる化合物である。